

本島北部豪雨で使用した 災害対策用機械の操作訓練を実施



道の駅おおぎみでの応急給水支援



国頭村比地区における土砂撤去支援

協力会社：沖縄道路メンテナンス（株）、オバス（株）

これらの課題を踏まえ、令和7年2月26日、本島北部豪雨にて支援活動を行った災害対策用機械の操作、及び機器仕様の情報共有等を行い、災害発生時における応急復旧支援活動の能力向上を図ることを目的とした訓練を実施し、併せて機械の貸付の流れや保険に関する情報共有なども行いました。この訓練には開発建設部職員や維持業者以外に本島内市町村の防災担当者や水道事業者など40名以上も参加して、担当者の説明を受けて実際の機械操作実演なども行いました。

お問合せ先
開発建設部 防災課
☎ 098-866-1903

今後も万が一の災害に備え、平常時から訓練や情報共有を通して災害復旧活動の能力向上を図っていきます。



給水装置付き散水車による応急給水訓練

開発建設部

No.14

空心

仕事の

令和6年 沖縄本島北部豪雨について

沖縄本島北部では令和6年11月8日から10日まで断続的に活発な雨雲が発生し、9日0時12分から10日8時47分までに、国頭村・大宜味村・東村・名護市で合計18回の記録的短時間大雨情報が発表されるなど、過去に経験したことが無いレベルの局地的な集中豪雨となりました。

この豪雨により、国頭村比地区集落への浸水・土砂流入や大宜味村津波浄水場の被災による断水など、甚大な被害が発生しました。開発建設部では、11月9日から15日の期間、沖縄本島内では初めてとなる緊急災害対策派遣隊（TEC-FORCE）

の管内派遣を行い、特に国頭村・大宜味村においては、災害対策用機械（排水管清掃車・側溝清掃車・給水装置付き散水車）の緊急貸付等による災害応急復旧支援を実施しました。

災害対策用機械操作訓練の実施について

災害対策用機械による災害時の応急復旧支援については、自治体からの要請による無償貸付が基本となります。自治体側で用意する地元業者等の作業員が作業する際、不慣れな機械操作による作業時の破損や交通事故の補償対応などが懸念されています。

災害対策用機械操作訓練
(宜野座村：漢那ダム湖畔公園)



参加者による機械操作実演